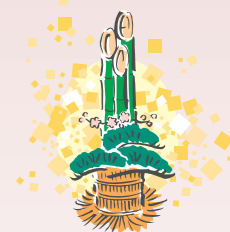


年頭のご挨拶



中山町長 大津保信

新年明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、中山町は年々魅力ある町として発展を続けていますが、町民の皆様が長年待ち望んでいた教育・文化の拠点としての町立図書館「ほんわ館」が昨年4月にオープンしました。



昨年4月にオープンした町立図書館「ほんわ館」

本年は平成26年度の中山中学校全面改築着工に向け準備を万全なものとし、また、温かい米飯提供の完全給食を実施するため、26年度着工予定の学校給食共同調理場の改築に向け実施設計などを進めていきます。

私は就任以来、「安全なまちづくり」と「未来への責任」を2本柱として町政運営を進めてきましたが、本年もこれを堅持しつつ、新たな視点から工夫を加え、依然として厳しい財政状況にあります。が堅実に運営し、さらなる発展につなげていきたいと考えています。行政は縦割りで物事を考えがちですが、これを改め、横の連携を図っていくことで、考え方が広がり、様々な角度から事業をとらえ

ることができるようになります。このことが行財政改革に結びついていきます。こうしたことを実現していくためには、職員の意識改革や資質向上はもちろんのこと、町民の皆様との協働も不可欠と考えています。

これからも、私の信条であります「熱意と誠意」、そして「町民の皆様と共に考え、共に歩む」ことを基本理念とし、町職員全員が一丸となって、「中山町に住んで良かった。」これからの中山町に「町に住みたい」と皆様に言ってもらえるよう努力してまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって良い年となりますよう、併せて健康で幸せな一年となりますよう、ご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



新春のひととき、町の発展を願う新春を祝う会

1月4日、「新春を祝う会」が中央公民館で開催され、町や町内商工業関係者約130名が出席しました。



昨年までの「新春名刺交換会」から、より多くの人に気軽に参加してもらえよう名称を変更して開催。はじめに発起人を代表して大津町長が「本年は中山町が理想とする将来像に向かって大きく飛躍する年としたいので、皆さんからお力添えをいただきたい」とあいさつ。その後、町の特産品である「すもものスパークリングワイン」を片手に原商工会会長の音頭で乾杯し、出席者たちは新年のあいさつを交わしながら、町の発展とお互いの繁栄を祈り、新年の飛躍を誓い合っていました。

新しい3E3B学校への想いが詰まった

『中山中学校改築基本構想』が完成



平成26年度に全面改築着工予定の中山中学校。その新しい中学校への想いをまとめた「中山町立中山中学校改築基本構想」が完成し、12月17日に大津町長に報告されました。

基本構想は昨年7月から中山中学校建設検討委員会が作成してきたもので、一般町民、中山中学生、生徒の保護者や教職員を対象としたアンケート調査、先進学校の視察、中山中学生によるワークショップ、また、それらを検討する7回の委員会を開催し、今回の基本構想に反映させてきました。

基本構想の内容は「生徒たち第一の視点で、生徒たち主体で、生徒たちのために」をテーマとして「すぐれた学習活動に取り組める学校」「安心して安全な生活の場としての学校」「災害時にたよりになる学校」



石川建設検討委員会委員長から大津町長に基本構想が報告されました。

「地域に開かれた学校」「環境に配慮した学校」「これまでの中山中の歴史を身近に感じる学校」といった想いを基本的な方針としました。

また、その「想い」を「かたち」にしていくために、「施設の新配置計画」「建設時期及び想定スケジュール」「施設の想定規模」「学校敷地内の整備内容」「設計者の選定方法」といった今後の施設整備の方針をまとめています。

「中山中学校改築基本構想」は町ホームページ (<http://www.town.nakayama.yamagata.jp/sinchaku/tyugakukensetu.html>) でご覧いただけます。

「岡防災コミュニティセンター」完成



岡地区文化交流センター

岡地区の消防・防災活動の拠点である第4分団第2部ポンプ庫が岡地区文化交流センター敷地内に移転し、「岡防災コミュニティセンター」として完成し、12月22日に同部に引き渡されました。外観は隣接の岡地区文化交流センターと基調を合わせ板張りとし、車庫部分は以前より広く、高くするとともに、収納部分を確保することで消防積載車出動時の利便性が向上しました。

また、第2分団第1部(達磨寺、向新田)の消防積載車も更新されました。これまで小型ポンプを水利近くに降ろして行っていた消火活動を、小型ポンプを積載したままで行うことができ、現場での消火活動を迅速に行うことができるようになります。

これからの季節は暖房器具の使用により住宅火災の発生が心配されます。今回の更新により消防力の充実・強化が図られましたが、引き続き火の元には十分注意し、火災を起こさないようにしましょう。



第2分団第1部(達磨寺、向新田)の消防積載車も新しく更新しました。